

13. 他府県との人口移動数

昭和40年国勢調査の結果に現われた全国的な特徴の一つに都市人口の増加，農村人口の流出化傾向が明確になったことである。

全国で人口の増加した府県は21，減少したのは25と，地域間の人口移動現象が浮きぼりされた。本県も35年以降人口の社会増の傾向が高まり，40年は転入164千人，転出112千人，社会増5.2万人に達した。これは東京の人口圧力に伴う周辺地域への分散（住宅地化）工業開発等によるものとみられる。本県転出入人口のうち東京，神奈川，埼玉，茨城の4都県で転入の68%，転出の74%を占め，そのうち転出入とも東京が大半を占めている。

年，府県	移 動 人 口		転入と転出の差	府 県	移 動 人 口		転入と転出の差	
	転 入	転 出			転 入	転 出		
昭和 29 年	57 343	69 177	△11 834	福 山 山 長 岐 静	井 梨 野 早 岡	227	134	93
30	56 865	62 582	△ 5 717			891	538	353
31	55 981	61 896	△ 5 915			1 797	1 018	779
32	66 330	64 455	1 875			454	300	154
33	69 552	47 320	2 232			2 313	1 903	410
34	70 016	66 243	3 773	愛 三 滋 京 大	知 重 賀 都 阪	1 853	1 534	319
35	86 883	69 710	17 173			426	304	122
36	105 444	75 606	29 838			260	138	122
37	132 658	85 811	46 847			720	507	213
38	140 431	92 483	47 948			2 986	2 264	722
39	167 654	99 463	68 191	兵 奈 和 鳥 島	庫 良 山 取 根	2 030	1 515	515
40	163 875	112 278	51 597			216	151	65
北 海 道 青 森 岩 手 宮 城 秋 田	4 668	2 384	2 284			303	239	64
	1 617	838	779			257	126	131
	1 928	708	1 220			338	128	210
	1 776	1 094	682	岡 広 山 徳 香	1 374	1 144	230	
1 631	630	1 001	1 085		692	393		
山 福 茨 城 栃 群	1 589	600	989		1 086	485	601	
	2 905	1 221	1 684		250	280	△ 30	
	6 378	4 235	2 143	313	174	139		
	2 335	1 381	954	愛 高 福 佐 長	623	302	321	
2 758	1 157	601	347		137	210		
埼 東 神 奈 新 富 石 川	6 864	8 461	△ 1 597		3 244	1 284	1 960	
	87 250	58 466	28 784		382	225	157	
	11 535	11 605	△ 70	830	410	420		
	2 615	1 356	1 259	熊 大 宮 崎 島	855	407	448	
650	282	368	525		243	282		
石 川	407	311	96		574	283	291	
					1 410	684	726	